

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営会議を活かした取り組みに関して	入居者ご家族様の参加は少しずつ増えてきているが、自治会や老人会等近隣の住民の方々の参加が少ないため近隣住民の方々の参加を増やし、その意見をホームの運営やサービスに反映させていく。	近隣の住民の方々に向けてホーム内での行事告知、参加の呼びかけをポスター等で行い、参加を依頼していく。	6ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援に関して	重度化及び終末期に向けた指針の内容をスタッフ間で情報共有出来るように努めて尊厳に配慮した終末期ケアを行えるように徹する。	看取りのケアパスを利用し運営会議や面会時にご家族の意向を定期的にかがうように努めケア会議において周知できるように努める。	6ヶ月
3	13	職員を育てる取り組みに関して	認知症の理解、認知症のケアの質を高めるため、認知症を深く知る場を作り、役割を見だし、やりがいを持ち仕事に取り組めるようにする。	介護福祉士の主催で認知症ケアに関する講座を開催し、認知症について考える場を設け日々のケアにいかしていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。